

(様式第2号)(第14条関係)

太陽光発電施設設置許可申請書

令和7年7月22日

長野県知事 様

住 所 東京都中央区新川一丁目11番11号
東京冷凍新川ビル3階
氏 名 株式会社アドバリュー
代表取締役 藤田早織
〔法人にあっては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第14条第1項の規定により、下記のとおり申請します。

記

太陽光発電施設の設置の場所		長野市大岡中牧字聖 4302、4303、4306、4307、4308、4309、4310 長野市大岡中牧字大谷地4349-1、4350
事業区域の位置及び面積		別添位置図及び事業区域図参照 面積40,136.4㎡
太陽光発電施設の合計出力		1,999.8kW (太陽電池の合計出力 2,973.6kW)
太陽光 発電事 業の内 容及び 実施予 定期間	発電電力の用途	■売電 □自家消費 設備ID (オフサイトPPA)
	設置工事着手予定日	令和7年10月1日
	設置工事完了予定日	令和9年6月30日
	運転開始予定日	令和9年7月31日 (中部電力の送電線引込工事施工完了が令和9年7月頃の想定で、設置工事完了予定日及び運転開始予定日を予定)
	施設撤去予定日	令和39年8月1日以降
太陽光発電施設の設置に関する計画		別添「太陽光発電施設設置計画書」のとおり
太陽光発電施設の構造に関する事項		別紙図面のとおり
景観保全のための措置の検討に関する事項		別添「景観の保全のための措置の検討状況書」のとおり
環境の保全のための措置の検討に関する事項 ※環境配慮区域に太陽光発電施設を設置する場合に限る。		別添「環境の保全のための措置の検討状況書」のとおり
備考		連絡先株式会社アドバリュー (電話番号) 03-5542-0377 (FAX番号) 03-5542-0665 (電子メールアドレス) solar@addedvalue.co.jp

注1 該当する□内に△印を記入すること。

2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、提出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在する土地の地番全てに記載すること。

- 3 「事業区域の面積」欄には、小数第1位まで記載すること。
- 4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第1位まで記載すること。
- 5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第9条第1項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。
- 6 「備考」欄は、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。

- (添付書類)
- 1 位置図
 - 2 事業区域図
 - 3 登記事項証明書（申請者が法人である場合に限る。）
 - 4 誓約書
 - 5 太陽光発電施設の配置図
 - 6 土地の形質変更を行う場合にあつては、当該土地の造形計画の平面図、縦断面図及び横断面図
 - 7 擁壁を設置する場合にあつては、当該擁壁の構造図
 - 8 排水計画に係る平面図及び断面図
 - 9 太陽光発電施設の構造に関する図面
 - 10 現況写真
 - 11 条例第11条の書面
 - 12 その他知事が必要と認める書類

(参考様式) (第9条関係)

太陽光発電施設設置計画書

防災対策等設置施設	☒ 調整池 ☐ 沈砂池 ☒ 排水設備 ☒ 擁壁 ☐ 管理用道路 ☐ その他（ ）		
特定区域の該当 ※該当するものは事業区域図に明示すること	☒ 地域森林計画対象民有林 ☐ 地すべり防止区域 ☐ 急傾斜地崩壊危険区域 ☐ 土砂災害特別警戒区域 ☐ 砂防指定地 ☐ 該当なし		
環境配慮区域の該当 ※50 キロワット以上の事業に限る ※該当するものは事業区域図に明示すること	☒ 地域森林計画対象民有林 ☐ 国立公園・国定公園・長野県立自然公園 ☐ 長野県自然環境保全地域 ☐ 郷土環境保全地域 ☐ 水道水源保全地区 ☐ 水資源保全地域 ☐ 希少野生動植物の生息地等保護区 ☐ 鳥獣保護区 ☐ 該当なし		
工程表	令和7年10月1日～令和9年7月31日 別紙工程表のとおり		
工事車両の運行計画	想定される台数（延べ） 50 台 運行時間 AM9：00～PM4：00 経路 別紙地図		
造成工事	盛土の有無	有	想定盛土量 4960 m ³
	切土の有無	有	想定切土量 4960 m ³
	事業区域外からの搬入量		0 m ³
	事業区域からの搬入量		4960 m ³
排水処理設備の有無	有		
	排出経路	調整池から隣接水路	
送電設備	☐ 鉄塔 ☒ 電柱 ☐ 地下埋設		

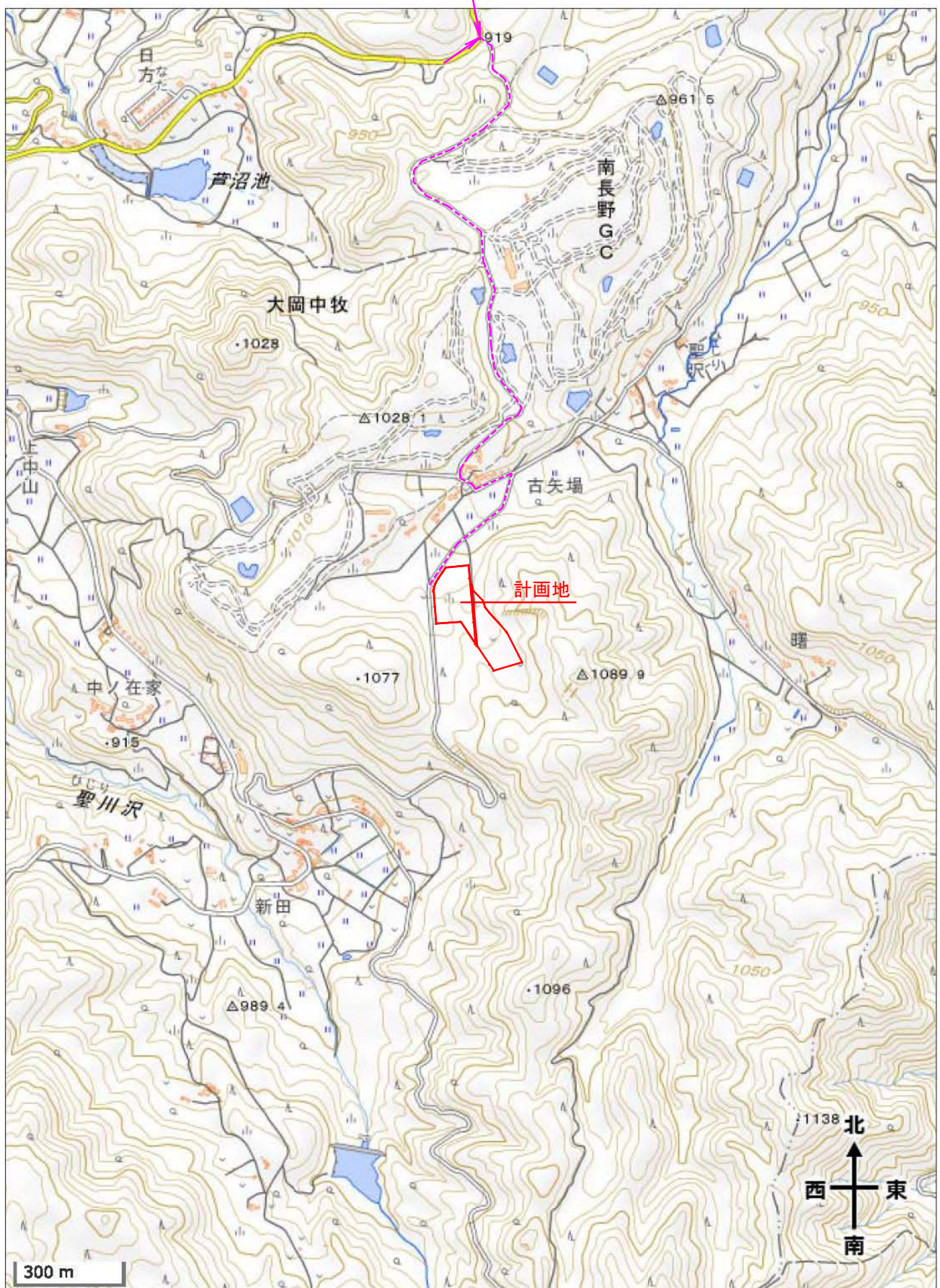
工 事 工 程 表

	令和7年			令和 8 年												令和9年						
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
伐採・ 整地工事		伐 採		工事 休止 期間									伐 採			工事 休止 期間						
		荒造成											整 地									
調整池 U字溝 工事																						
太陽光設備設 置工事																						
試運転調整/ 使用前自己確 認検査																						完 工
系統連系																						

注記)

① 上記スケジュールは中部電力の送電線引込の設計及び工事施工完了が令和9年7月頃を予定との情報に基づき作成致しました。
従い、実際の送電線引込計画の精度が上がるのに合わせて当社設備の設置工事の完了時期が前後致します。

② 令和8年～9年の工程は現場の積雪状況に合わせて最適化、見直しを行います。



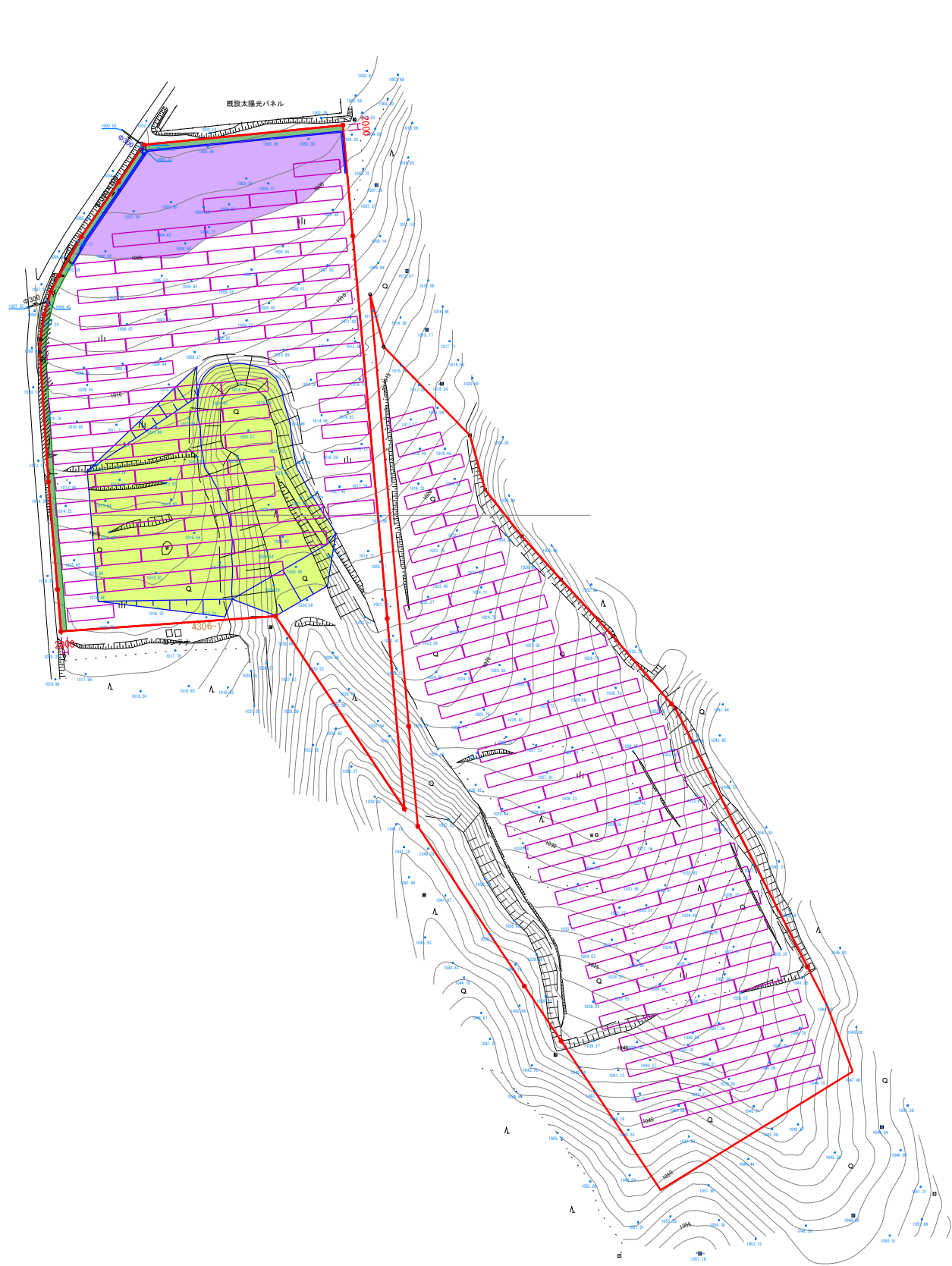
(参考様式) (第7条関係)

景観の保全のための措置の検討状況書

項 目		検 討 事 項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	・道路沿いは、農地である為見通しは良いが、奥は、尾根に挟まれパネルは見えません。 ・調整池も現地形を利用した計画とした。
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	・完成予想図/俯瞰図を添付しました
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	・境界からの離隔を確保しました。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	・アレイ間の離隔を4.5m配すと共に、事業地を南北に走る農道で2ブロックに分離設置する事で大規模な平滑面は連続しない。
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	・設置高は、積雪を考慮した高さとし、それ以上高くしない。
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	・道路沿いに出来る限り緑化します。
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	・土質調査により架台計画を行い、配列は一定の規則性を持たせます。
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	・極力整合させます。
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	・道路隣接部は、後退、植栽します。

項 目		検 討 事 項		配慮する内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。		・低反射のﾊﾟﾈﾙを使用します。
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。		・濃紺とします。
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。	・低反射素材にします。
			(2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	・極力同系色とします。
附帯施設・ 附属施設		(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。		・茶系とします。
		(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。		・必要最小限にします。
		(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。		・色彩に配慮します。
敷地の緑化		(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。		・道路沿いの緑化に努めます。
		(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。		・地域に即した高木を植樹します。
その他		(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。		・反射による影響がない場所ですが、境界からの離隔を取ります。
		(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。		・定期的に維持管理します。
		(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。		・景観条例の届出をします。

上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。



- 開発区域界 (ネットフェンスH=1800位置、調整池流域)
- 高木植栽H=2000@1500 (479㎡)
- 種子吹付 (5644㎡)
- 自然繁殖
- 排水施設 (U-300B、集水樹)
- 調整池 (詳細一構造図参照)
- ハコ

(参考様式) (第8条関係)

環境の保全のための措置の検討状況書

①検討の 対象項目	②事 業 内 容	③チェック	④環境保全措置の具体的な内容※1, 2, 3, 4
粉じん	(1) 事業区域に住居等が隣接するか	☐ はい ☒ いいえ	【(1)、(2)が<u>どちらも</u>「はい」の場合に記載】
	(2) 切土・盛土を行う計画か	☒ はい ☐ いいえ	
騒音・振動	(3) 建設機械が稼働する計画か	☒ はい ☐ いいえ	【(3)、(4)が<u>どちらも</u>「はい」の場合に記載】 (3)造成地は、住居から離れているが、低騒音機械を使用する。 (4)道路沿いの住居は、そのほとんどが空き家になっており、居住している一軒の方は、道路から離れているが、工事車両が通過する事については、説明済で、了承されております。
	(4) 次のいずれかに該当するか ・近隣に住居等が存在する ・工事用車両の走行ルート沿いに住居等が存在する	☒ はい ☐ いいえ	
水環境	(5) 事業区域内に次のいずれかの区域が含まれるか ・水道水源保全地区 ・水資源保全地域	☐ はい ☒ いいえ	【(5)、(6)が<u>どちらも</u>「はい」の場合に記載】
	(6) 次のいずれかに該当するか ・薬液注入工法を採用する ・事業区域内で農薬を使用する	☐ はい ☒ いいえ	
動植物	(7) 事業区域内に次のいずれかの区域が含まれるか ・国立公園、国定公園、県立自然公園 ・長野県自然環境保全地域 ・希少野生動植物の生息地等保護区	☐ はい ☒ いいえ	【(7)～(8)の<u>いずれか又は両方</u>が「はい」の場合に記載】

①検討の 対象項目	②事 業 内 容	③チェック	④環境保全措置の具体的な内容※1, 2, 3, 4
	(8) 事業区域内の次のいずれかの区域において、切土・盛土や樹木の伐採を行うか ・ 国有林、地域森林計画対象民有林 ・ 郷土環境保全地域 ・ 鳥獣保護区	☒ はい ☐ いいえ	事業地の一部の切盛を行うが、必要最小限とし、事業地のほとんどは、現況地形をいかりながら利用する計画です。
触れ合い 活動の場	(9) 事業区域内に次のいずれかの区域が含まれるか ・ 国立公園、国定公園、県立自然公園 ・ 郷土環境保全地域	☐ はい ☒ いいえ	【(9)、(10)が <u>どちらも</u> 「はい」の場合に記載】
	(10) 次のいずれかに該当するか ・ 事業区域に触れ合い活動の場が含まれる ・ 事業区域や工事用車両の走行ルートが触れ合い活動の場に隣接する	☐ はい ☒ いいえ	

※1 ③列にチェックした結果、環境保全措置の検討が必須である場合において、環境保全措置を検討した結果、環境保全措置を不要と判断したときは、その旨及び理由を④列に記載すること。

※2 環境影響評価法又は環境影響評価条例の対象事業については、環境保全措置の具体的な内容の記載に代わり、環境影響評価図書（事業基本計画書においては計画段階環境配慮書や環境影響評価方法書、許可申請書又は設置届出書においては環境影響評価書）の写しを添付することも可能。

※3 許可申請書又は設置届出書の作成にあたり、事業基本計画書から④列の内容を変更した場合は、変更後の内容及びその理由を④列に記載すること。（④列のうち、変更していない箇所には、従前のとおり記載すること。）

※4 ③列にチェックした結果、環境保全措置の検討は必須ではないが、事業者が必要と判断して検討した環境保全措置の内容を④列に記載することは可能。

(参考様式) (第 19 条関係)

維 持 管 理 計 画

作成日

令和 7 年 7 月 22 日

太陽光発電施設の設置場所	長野市大岡中牧字聖 4302、4303、4306、4307、4308、4309、4310 長野市大岡中牧字大谷地 4349-1、4350	
事業者名（法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名、住所及び連絡先）	東京都中央区新川一丁目 11 番 11 号 東京冷凍新川ビル 3 階 株式会社アドバリュー 代表取締役 藤田早織 03-5542-0377	
保守点検責任者	氏名及び住所	株式会社アドバリュー 東京都中央区新川一丁目 11 番 11 号 東京冷凍新川ビル 3 階
	電話番号	03-5542-0377
合計出力	1,999.8kW	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日（事業終了予定日）	令和 39 年 8 月 1 日以降	
損害保険の加入状況	☒ 有 ☐ 無 (保険内容 自然災害 電氣的・機械的事故の対応)	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	・太陽光発電施設の処分は、事業者にて撤去後、産業廃棄物処理業者に委託	
維持管理計画及び状況の公表方法	・事務所に置いて請求があった際に開示します	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

＜太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容＞

- ・調整池を設置し、雨水の流出抑制を行う。

＜土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容＞

- ・この施設による事項については、事業者が損害賠償等対応する。
- ・周辺地域に影響が及んだ場合は関係機関に連絡し速やかに保全に努める。

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	■	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年1回	
			端子箱に破損、変形がないか		年1回	
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。		年1回	
	■	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。		年1回	
	■	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。		年1回	
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。		年1回	
	■	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。		年1回	
	■	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。		年1回	
			接続部に緩み、破損がない。		年1回	
	■	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。		年1回	
			架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。		年1回	
			積雪による沈降、不等沈降、地際腐食等などの影響がない。		年1回	
			ボルト、ナットの緩みがない。		年1回	
			固定強度に不足の懸念がない。		年1回	
接続箱	■	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。		年1回	
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年1回	
			雨水、じんあい等の侵入がない。		年1回	
	■	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。		年1回	
漏電遮断器	■	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などがない。		年1回	
	■	配線	配線に著しいきず、破損がない。		年1回	
パワーコンディショナー	■	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。		年1回	
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年1回	

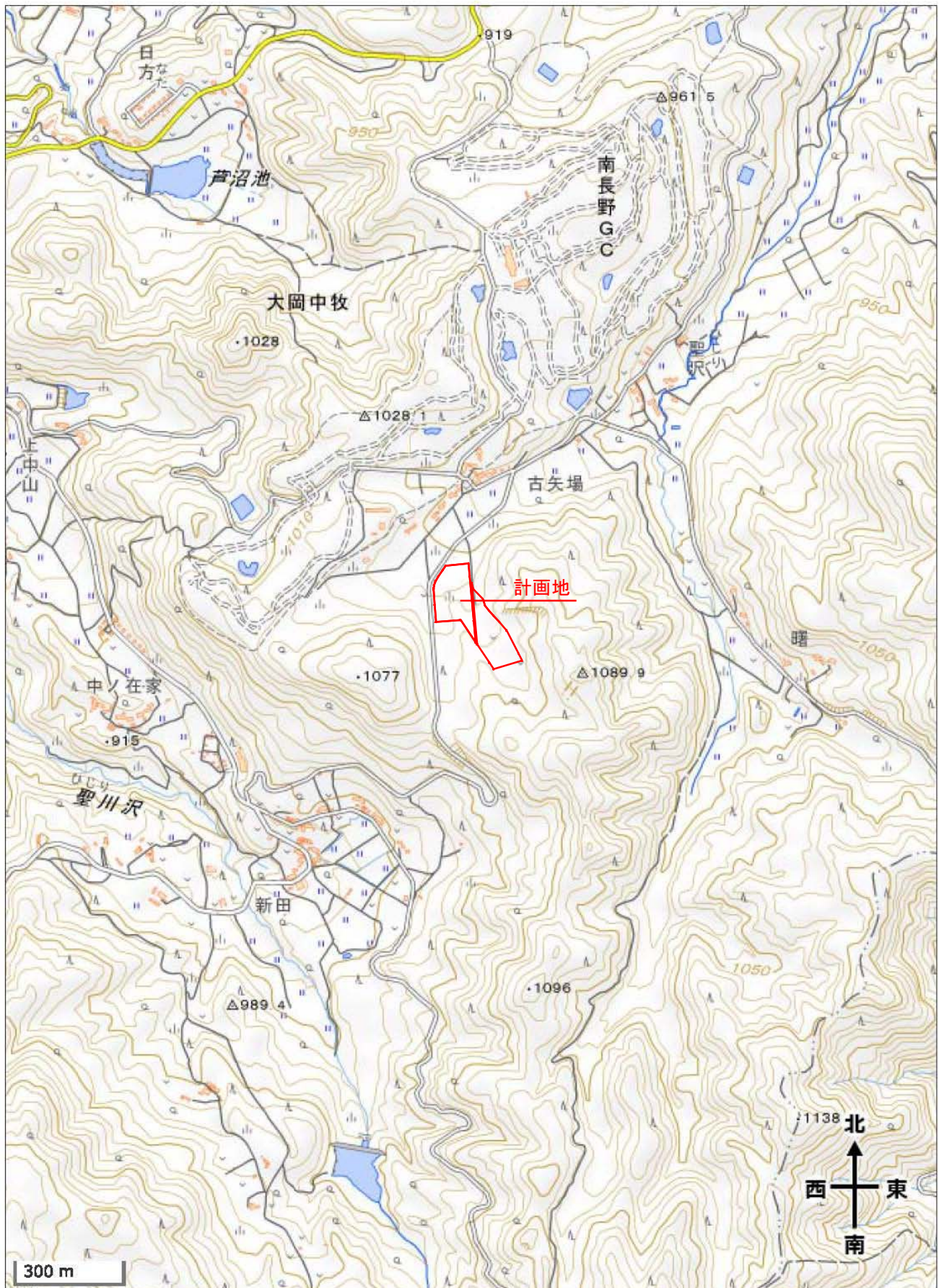
			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。		年1回	
			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない		年1回	
	■	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などがない。		年1回	

附帯施設

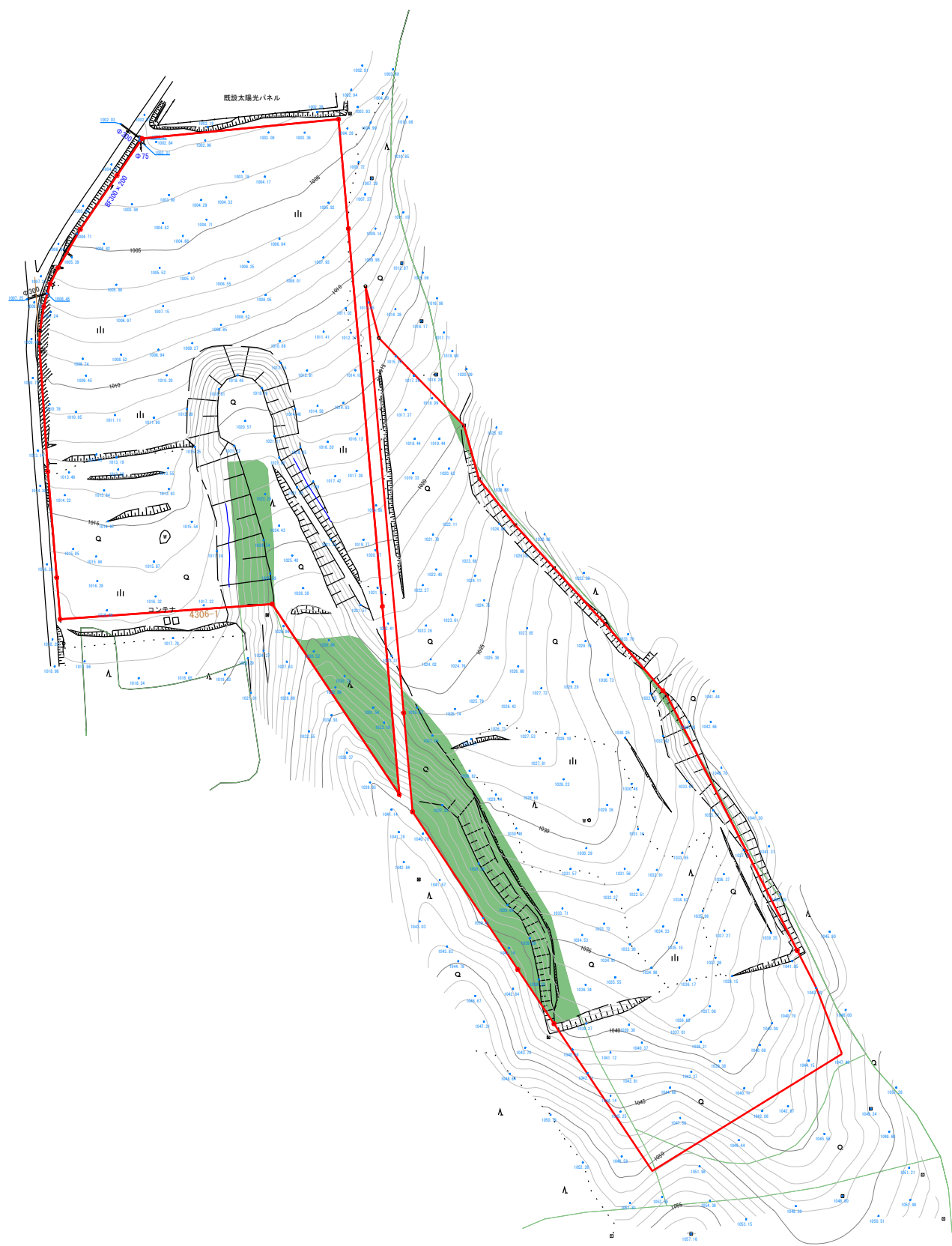
対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	■	切土法面	小段の沈下がない。	目視	年2回	
			排水溝の損傷がない。		年2回	
			目地にずれがない。		年2回	
			開口量の大きな亀裂が発生していない。		年2回	
			吹付工法等の剥離がない。		年2回	
			法枠工法等の破断がない。		年2回	
			はらみ出しの発生がない。		年2回	
			大量の湧水（濁り）がない。		年2回	
			崩落がない。		年2回	
			上部斜面からの土砂流出がない。		年2回	
	■	盛土法面	小段の沈下がない。		年2回	
			段差が発生していない。		年2回	
			排水溝の損傷がない。		年2回	
			法尻の崩落がない。		年2回	
			オーバーフローによる洗掘がない。		年2回	
			大量の湧水（濁り）がない。		年2回	
			湧水箇所の軟弱化がない。		年2回	
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。		年2回	
			座屈、段差、傾斜がない。		年2回	
			つなぎ目にずれがない。		年2回	
排水設備	■	排水溝、枡	水路に落下物等のつまり、堆積がない。		年2回	
			亀裂、ずれがない。		年2回	
			破損がない。		年2回	
			排水設備外への漏水がない。		年2回	
調整池	■	提体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。		年2回	
			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。		年2回	

			草木の繁茂がない。		年2回	
	■	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。		年2回	
	■	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		年2回	
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		年2回	
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。		年2回	
	■	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。		年2回	
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		年2回	
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		年2回	
			油等の浮遊がない。		年2回	
	■	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。		年2回	
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。		年2回	
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。		年2回	
			油等の浮遊がない。		年2回	
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。		年2回	
防護柵、塀	■	フェンス（防護柵）	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。		年2回	
	■	標識（事業計画、注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。		年2回	
	■	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。		年2回	
進入路・管理道	□	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。			
			事業地周辺への土砂の流出がない。			
			雨水等による洗掘がない。			
			草木の繁茂がない。			
設置地盤	□	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。			
			段差、傾斜がない。			
			空洞の発生（土砂の流出）がない。			
			隆起の発生がない。			
設置地盤	■	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。		年2回	
			事業地周辺への土砂の流出がない。		年2回	
			雨水等による洗掘がない。		年2回	
			草木の繁茂がない。		年2回	

※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加してください。







事業区域界

事業区域内5条森林区域 3815㎡



(株) 東洋エンジニアリング 一級建築士事務所

長野県長野市三輪2-15-7 TEL: 026-243-0707 一級建築士登録 大臣第117218号
E-mail: tyetoeng.co.jp FAX: 026-243-0874

設計 羽田 里

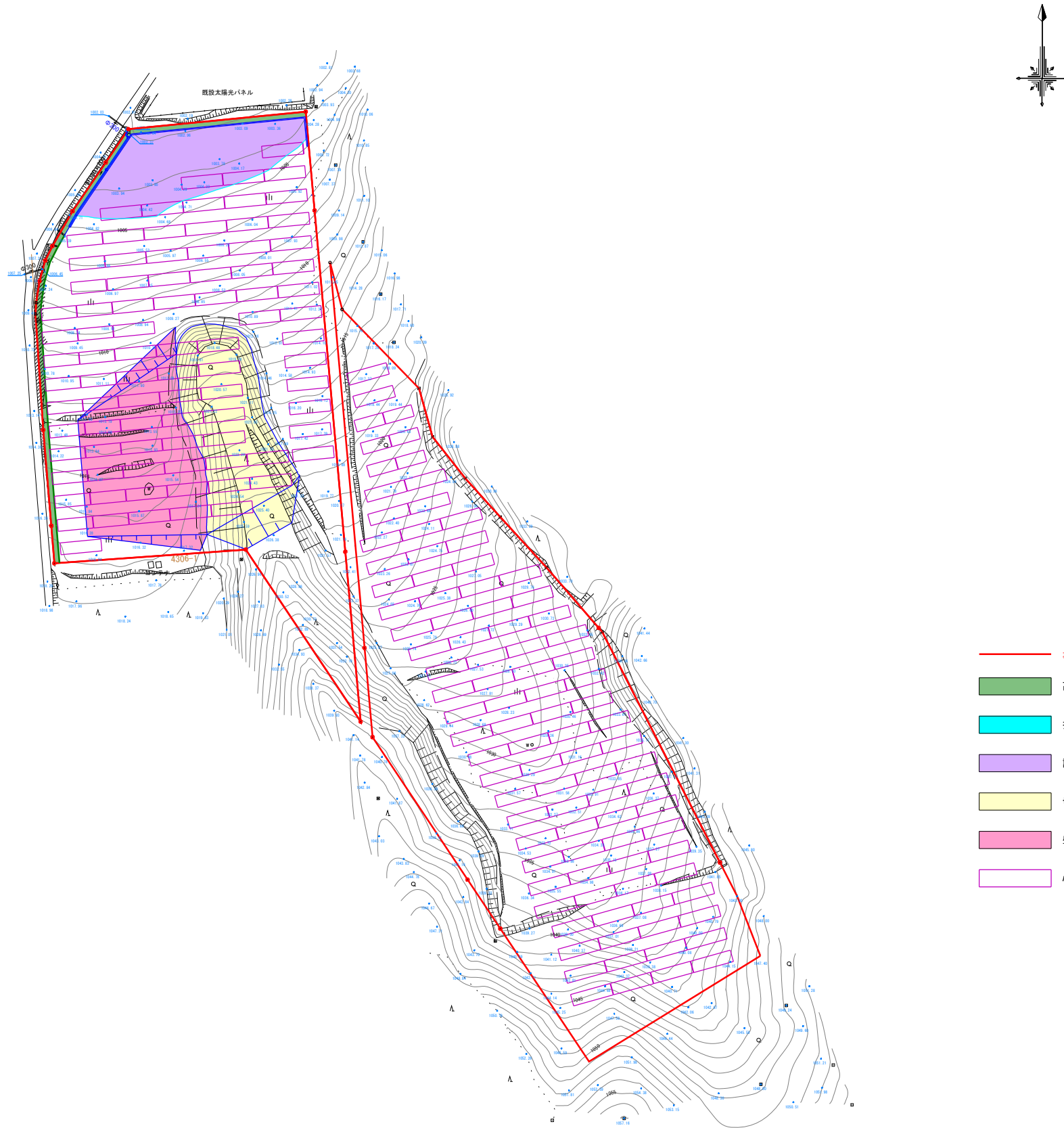
アンビックスソーラー長野発電所

現況図

DAY

SCALE

A1 1:1000 A3 1:2000



- 事業区域界
- 高木植栽H=2000@1500
- 排水施設 (U-300B、集水樹)
- 調整池 (詳細一構造図参照)
- 切土
- 盛土
- 川床



(株) 東洋エンジニアリング 一級建築士事務所

長野県長野市三輪2-15-7 TEL: 026-243-0707 一級建築士登録 大臣第117218号
E-mail: tyo@toyoe.co.jp FAX: 026-243-0874

設計 羽田 里

大岡中牧おひさま発電所

事業区域及び配置図

DAY

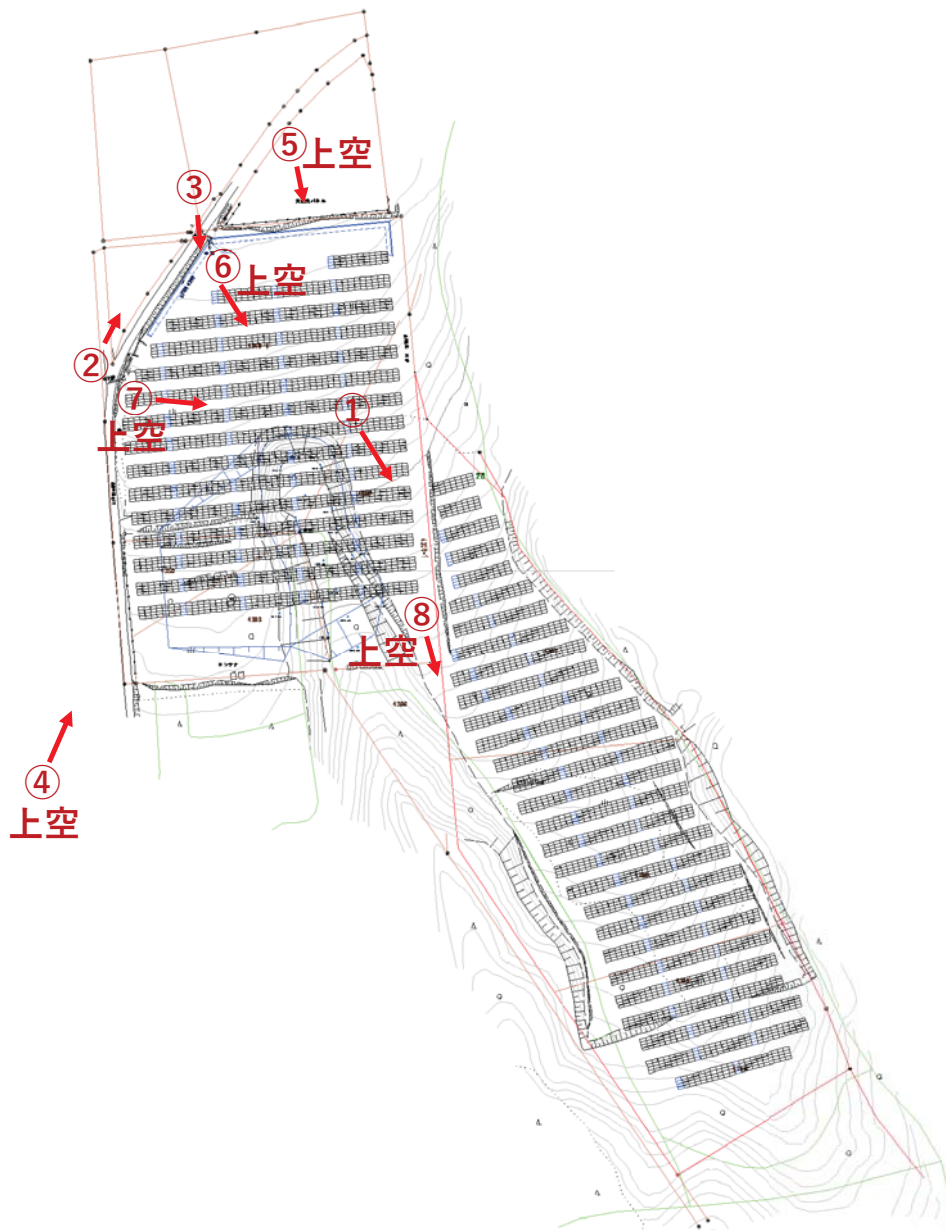
SCALE

A1 1:1000 A3 1:2000

12.10.2024

株式会社アドバリュー

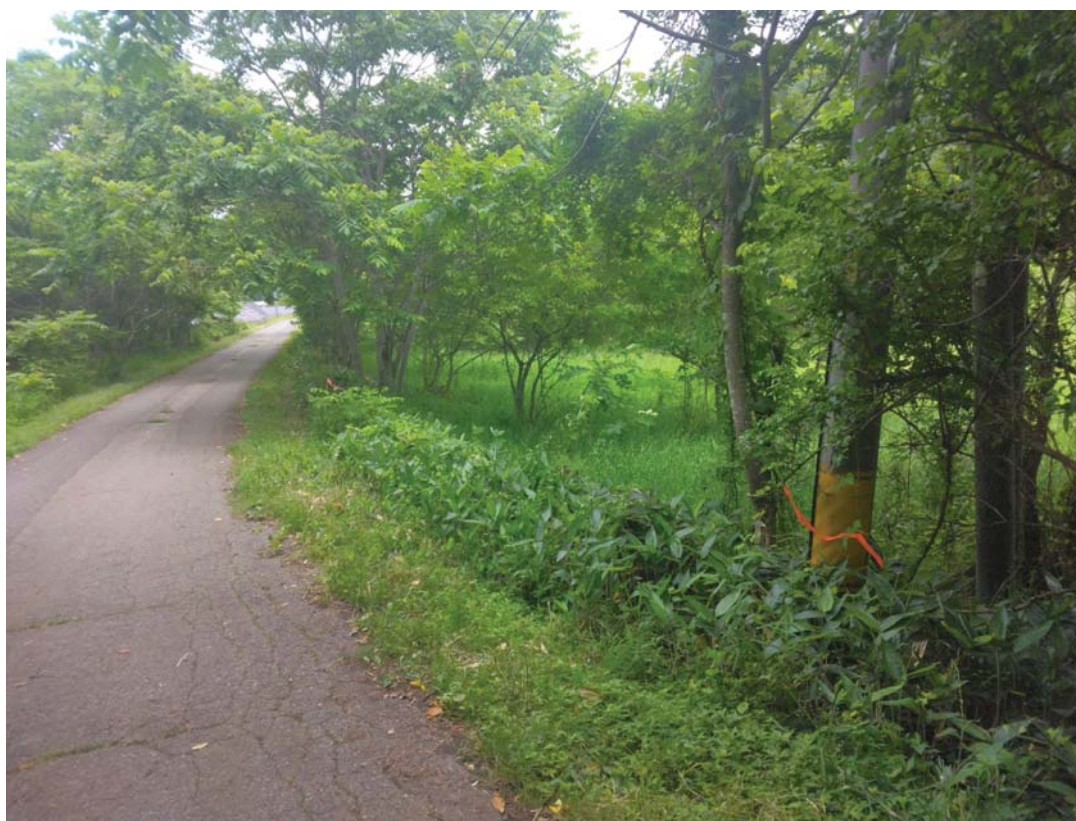
長野市大岡中牧字聖4302他（全9筆）現場状況がわかる写真



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



(参考様式) (第11条・第13条関係)

事業基本計画説明状況書

2024年12月9日作成

事業者の住所・氏名 (法人にあって、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)		住 所 東京都中央区新川一丁目11番11号 東京冷凍新川ビル3階 氏 名 株式会社アドバリュー 代表取締役 藤田早織
事業太陽光発電施設の設置の場所		長野市大岡中牧字聖4302、4303、4306、4307、 4308、4309、4310 長野市大岡中牧字大谷地4349-1、4350 (設備ID)
説明会開催についての周知の方法とその範囲		周知の方法 ・ 郵送、郵便受け投函、本人手渡し 範囲 ・ 事業地境界線から 300mの範囲内に居住する者及び事業地に隣接する土地又はその上にある建物を所有する者 ・ 事業区域に係る行政連絡区の代表者 ・ 雨水浸透処理余剰分を計画区域外へ放流される場合は、放流先の施設管理者及び地元関係者 ・ 地区担当の農業委員又は農地利用最適化推進委員
説明会の概要	日時	令和6年11月9日 14時～15時
	場所	聖北生活センター
	参加者数	3名
	説明を行った者の氏名（法人にあっては、氏名及び役職名	株式会社アドバリュー ■■■■■ ■■■■ ■■■■

注 1 説明会を 2 回以上開催した場合は、説明会ごとに作成すること。

- (添付資料) 1 説明会で配布した説明資料
- 2 説明会で説明した内容、参加者の要望及び意見並びにそれらへの回答等について具体的に記載した議事録

2024年11月9日

【長野市大岡中牧 おひさま発電所】説明会用資料

アドバリュー
Added Value

1.会社概要

商号 : 株式会社アドバリュー
本社所在地 : 東京都中央区新川1-11-11 東京冷凍新川ビル3階
設立 : 1974年3月
代表者 : 代表取締役 藤田 早織
資本金 : 8,000万円
事業内容 : 再生可能エネルギー、IT・通信、省エネ等の分野において、
多種多様な商品を販売するとともに、国際的なプロジェクト
の構築を行うなど、多角的に事業を展開

2-1.設備概要

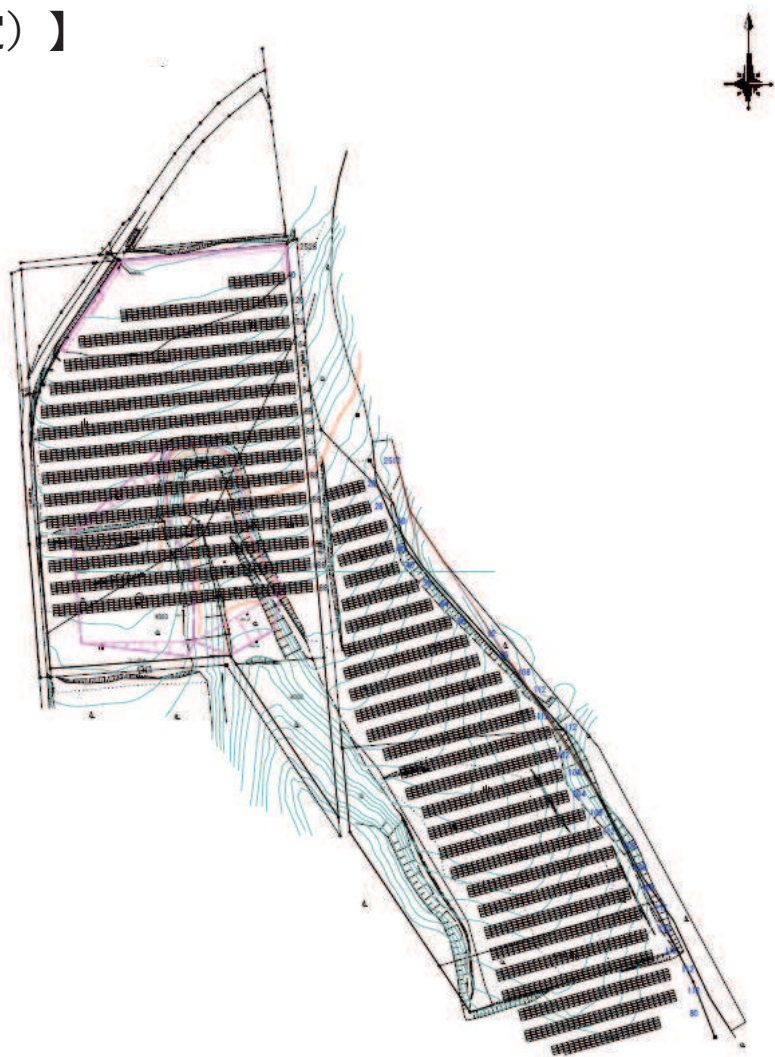
計画地 : 長野市大岡中牧字聖4302番他8筆
面積 : 40,136m²
設備 : 高圧発電所
発電所容量 : DC容量(予定)2,974.8KW AC容量(予定)1,999.8KW

【図1：計画地航空写真】



2-2.設備概要

【図2：設備計画図（予定）】



3-1.設備詳細

(1)法令・条例対応

- ・長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例、森林法、その他関連する法令・条例等に準拠して事業を進めております

(2)使用機材

- ・モジュールについては、一般社団法人太陽光発電協会（JPEA）が定めるガイドラインに基づき、廃棄時に適性な処理に資する情報が提供されているメーカーの製品を利用いたします
- ・パワーコンディショナーについては、ノイズ指数が家庭用クーラーの室外機と同レベルの静かなものを使用します
- ・架台（モジュールを支える金属製の構造物）については、JIS C8955に基づき、事業地の基準風速（30m/s）、垂直積雪量（100cm）から計算される風圧荷重、積雪荷重、地震荷重、また地盤調査の結果等を考慮し、メーカーにて耐久性を満たすと判断された製品を利用いたします

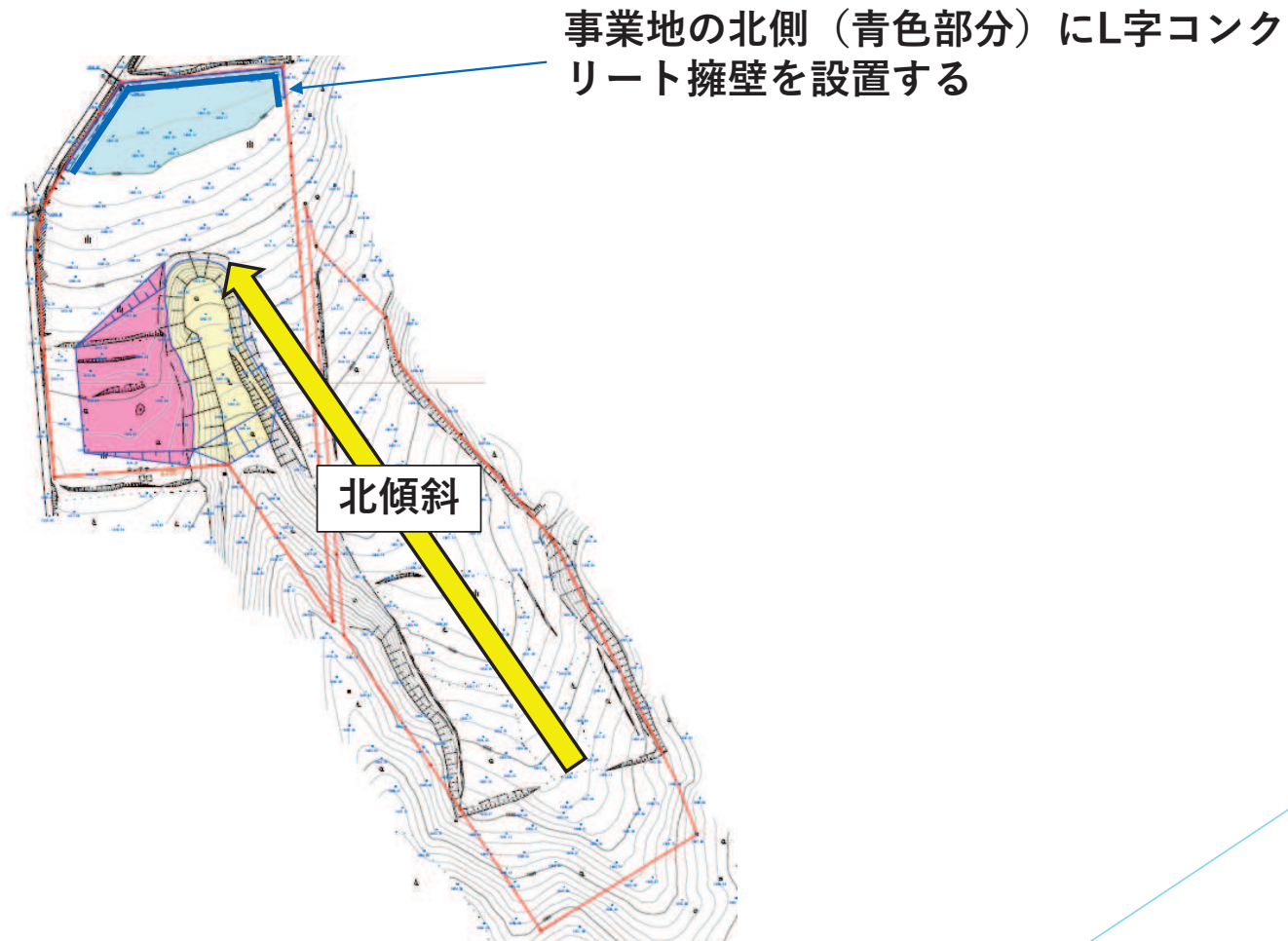
3-2.設備詳細

(3)雨水対策

- ・森林法、都市計画法に沿った防災調整池技術基準に基づき、設計を行っております
- ・具体的には、30年に1度の確率で起こりうる強度の大雨を想定し、急激な雨の流出を防ぐべく、事業地の北側の境界に沿って設置するL字コンクリート擁壁で構成する調整池に雨水を溜め、徐々に排水を行うように致します

3-3.設備詳細

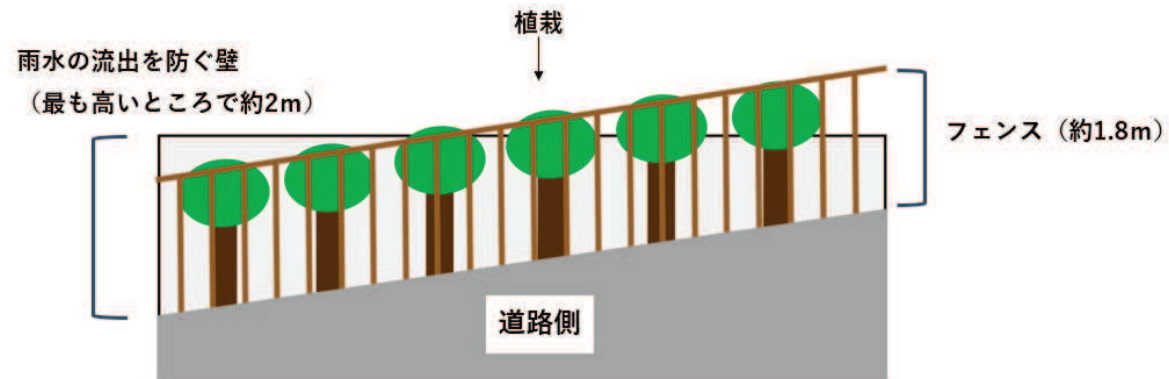
【図3：雨水対策（予定）】



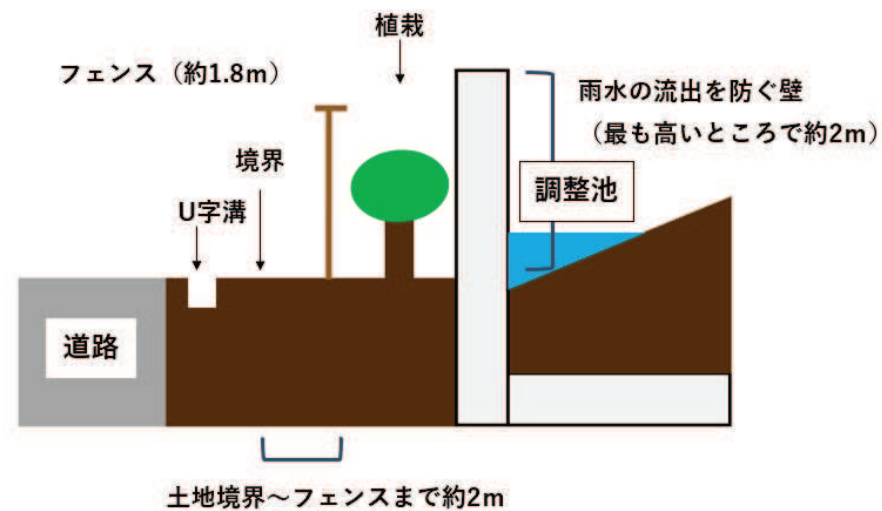
3-4.設備詳細

【図4：雨水対策詳細（予定／市道大岡更埴線側から見た時）】

正面から見た場合→



横から見た場合→



3-5.設備詳細

(3)景観の保全のための措置

- ・モジュールについては、以下のような対策を講じます
 - ✓ 架台の高さは積雪の影響を考慮しつつ、なるべく高さを抑えた設計にいたします
 - ✓ 敷地境界からモジュール間は一定の距離を取って配置いたします
 - ✓ モジュールは、表面にARコートという反射を軽減する加工をしたものを利用します。色味は真っ青というより黒色に近く、色彩に配慮したものとなっております
- ・その他以下のような対策を講じます
 - ✓ 周囲を囲うフェンスは茶色とし、周囲の景観となじみやすい色を採用いたします
 - ✓ 人通りのある道路と接する境界については、道路から約2mの離隔を取りフェンスを設置した内側にモジュールを配置致します
- ・長野市の景観条例についても併せて提出の準備を進めております

(4)環境の保全のための措置

- ・事業地の一部は切土、盛り土を行いますが、範囲は必要最小限とし、事業地のほとんどを現況地形をそのまま利用いたします
- ・形質変更を伴う伐採は造成が必要な最小限の範囲に留め、それ以外は日照の改善のための伐採として伐根はせず天然更新にて再生保全をするようにいたします

4-1.工事概要

(1) 工事の流れ

①用地整地



②資材搬入



③杭打ち



④架台設置

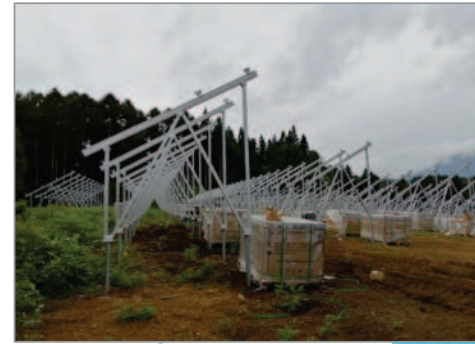
※発電所はフェンスで囲います



⑤パネル設置



⑥完成



4-2.工事概要

(2)搬入経路

- ・搬入経路は以下の黄色の線の通りとなります



4-3.工事概要

(3)工事のスケジュール

- ・工事のスケジュール（予定）は2025年1月～2025年12月です

(4)工事中の管理方法等

- ・工事にあたっては以下対策を行うことにより騒音・振動を予防して参ります
- ✓ 現地での工事車両乗入れについては、午前8時00分～午後18時00分までといたします。基本的には日曜の作業は行いません
- ✓ 使用する建設機械は作業内容に適した大きさの低騒音型のものを採用するよう努めます。作業時は建設機械の操作を丁寧に行い、移動が最小限になるよう努めます
- ✓ 路面状況が悪い場所については徐行を心掛け、砂及びほこりの発生に注意致します
- ✓ 人通りが多い場合は徐行にて通行し、安全対策を行います
- ・残材端材は適切に持ち帰り処分を致します

5.設備稼働後

(1)設備の維持管理方法

- ・発電所には、遠隔監視装置いたします。異常がある場合は、遠隔監視装置よりアラートが通知されるため、その内容を確認し、必要だと判断した場合は遠隔にて操作、また場合によって現地の確認、設備の修理等を行います
- ・定期的に点検を行い、電気特性の確認、発電設備や防災施設の劣化状況、周囲の環境の状況を確認し、必要な部分に関し補修を行います。また点検結果を記録し、保管致します
- ・年2回の草刈りを行い、景観の維持に努めます

(2)緊急時の対応

- ・台風や洪水、地震等が発生し、発電所に被害の発生のある場合は臨時巡回等を行い、監視体制の強化を図ります
- ・発電所には連絡先を明記した表示看板を入り口の見やすい位置に掲示し、周知を図ります

6.お問合せ先

ご意見がある場合は、以下問い合わせ先までお願いします

株式会社アドバリュー

担当者：

連絡先： XXXXXXXXXX

メールアドレス：



長野県条例 住民説明会議事録

案件名：大岡中牧おひさま長野発電所

日時：2024年11月9日（土）14時～15時

場所：聖北生活センター

説明者：株式会社アドバリュー ■■■■■、東洋エンジニアリング ■■■■■

住民側参加者：3名

説明内容：説明会要資料に沿い説明

質疑録：主な質疑応答は以下の通り

Q.	東京の会社の様だが全国的な事業展開をしているのか。
A.	ソーラー発電に関しては、東電、中電、東北電力管内。それ以外に自社設備で屋根借り発電事業を全国約100カ所で展開。
Q.	候補地は全国に、大岡でも他にもありそうな中で特に当地を選択した理由。
A.	電力需要が無い場所だと設置しても電力会社が受電できないと云う事も起きてしまうが、中部電力エリアの当地は、比較的受入に余裕がある事が確認できた。又、用地として、山林は造成整地が大変で、農地・雑種地の類が用地として適地。今回も同様に一部に山林はあるが適地として選定した。
Q.	近くにゴルフ場ができて、水が一気に下流に流れてしまう事が増え、以前にも下流の民家の物置やこのセンターにもにも泥水が流れ込んだ事がある。
A.	防災上、発電設備ができて、建設前と流出水量が変わる事がない様に設計している。また、建設後は流出量が一定に制御できる様に整備されるので、これ迄一気に流出していたのが防止できる様になる。
Q.	調整池を作る事で雨が降っても大丈夫と云う事ですね。
A.	予定地は林地開発と云う開発行為にはかからない場所になるが、計画している調整池の設計基準は1ha以上の伐採をした場合の開発基準である30年確率の降雨に対応できる調整池を作りなさいと云う基準と全く同じ基準に準拠させている。放流する量の根拠は、放流口に繋ぎ込む道路下を横断する300φのヒューム管のキャパ以下になる様にしている。今迄なら周囲に一気に流出していたのが、大雨が降っても一旦せき止めて、ヒューム管外に溢れない様にチョロチョロと放出させる。大雨でも一旦、池でせき止められる様になる。大体、2～3トンの容量がある。
	特に、予定地はあまり浸透が良くない土壌なので、浸透枳等を設置して場内で浸透させると云う通常のやり方では対処できない事もあって、費用をかけて調整池を設置する事にした事で、前述の通り今迄より水の放出が緩和される。
Q.	（説明に沿うと）監視カメラで監視していて、決壊等が起きたら対応すると云う事か。
A.	そう云う事ではあるが、決壊しない様に設計してある。地盤強度のボーリング調査をして、擁壁設置についての強度確認もしている。
Q.	以前、台風でゴルフ場の調整池が溢れた事が実際にある。その後更に周辺にソーラーがどんどんできてしまっている状況だ。

A.	決壊すると云う事は無い。流出は30年に1度の大雨に耐える設計になっていて、それ以上の降雨が起きたら溢れるのは防ぎ様が無い。
	雨水対策は行政と協議しながら設計しているのでご理解頂きたい。
Q.	以前に隣接ソーラーの工事中、泥が下流に流出した事がある。
A.	特に擁壁の掘削工事に際しては、水路に泥が出ない様に対策しながら行う。
	周りの水路についても管理が行き届いていない様であり、少し綺麗にしたいとは思っている。
Q.	(東側境界の) 山側と架台の間隔は？
A.	現状の設計では4~5mの予定。境界付近の枝打ちは後日相談させて貰いたい。
Q.	以前、隣接地の業者は他人の土地に残材を放置したり、勝手に伐採したり、重機を乗り入れたりでクレームする様な事が起きた。今回はごみの処理はキチンとやって貰いたい。
A.	工事業者と密に連携するので安心して欲しい。

事業基本計画に対する意見書（長野市 令和6年11月27日）

1	土砂流出や雨水流出など周辺敷地に被害がないよう 十分に配慮してください。
回答	都市計画法に沿った防災調整池技術基準に基づく設計にて、30年に1度の確率で起こりうる強度の大雨を想定し、急激な雨の流出を防ぐべく、事業地の北側の境界に沿って設置するL字コンクリート擁壁で構成する調整池に雨水を溜め、徐々に排水が行われるように致します
2	反射光や騒音等による影響に関して、十分に配慮してください。
回答	パネルは表面にARコートという反射を軽減する加工をしたものを利用します。稼働時の騒音の主な発生源はパワーコンディショナですが定格運転時の個々の作動音レベルは65dB以下であり、事業地に隣接居住者は無く影響は生じません。
3	太陽光発電設置の際は環境省の「太陽光発電の環境配慮ガイドライン」に基づき事業を進めていただくようお願いいたします。
回答	承知致しました。
4	長野市自然環境保全条例により、1 ha以上の開発造成（土地の形質変更）を行う場合は、着工前に市との間に開発基本協定を締結していただきます。 1ha以上の開発造成を伴わなければ、市自然環境保全条例の手続きは不要です。
回答	1ha以上の開発造成は伴いません。
5	形質変更の面積（掘削+盛土）の面積が 3,000平方メートル以上となる場合は土壤汚染対策法第4条第1項に基づく届出を提出してください。
回答	承知致しました。
6	開発予定地は、周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲外であり、また新たな埋蔵文化財の発見の可能性は稀少と判断されますが、 施行において不時の埋蔵文化財の発見に及んだ場合には、文化財保護法第96条第1項の規定による遺跡発見の届出が必要となります。現状を変更することなく、速やかに埋蔵文化財センターまで連絡の上、協議してください。
回答	承知致しました。
7	本計画はパネル面積が 500㎡を超えていますので、行為着手の 90日前までに、長野市景観を守り育てる条例による事前協議書を提出してください。また、行為着手の 30日前までに、景観法第16条による大規模行為の届出も必要です。
回答	提出します。
8	土地の形質の変更について、変更面積が 3,000㎡又は法面若しくは擁壁の高さが3 mかつ長さが 30mを超える場合は、行為着手の 30日前までに、景観法第16条による大規模行為の届出をしてください。
回答	提出します。
9	北、西の道路側については、中高木等を設置し、極力パネルが周辺道路から見えないように配慮してください。
回答	高木H2000を1.50m間隔で植栽します。
10	既存樹木については、極力伐採を避け、現在の景観を保つように配慮してください。
回答	5条森林の伐採に関しては、 ①架台設置に利用する箇所（形質の変更あり）：中央小山部分は架台設置のために皆伐の上、整地を行う。 ②日射量確保のために利用する箇所（形質の変更なし）：中央西側斜面部分は発電量を確保する為の日照環境の改善を目的に伐採するが、伐採の後を太陽光パネルの設置用地としては利用しないため、土石の採掘や伐根を含む開墾行為は行わず天然更新を図る事で景観を保つよう配慮します。

11	本市では、太陽光発電施設に関する景観形成基準を定めています。同基準の「工作物、太陽光発電施設・その他再生可能エネルギー施設等」の「山地」の列を確認の上、景観形成基準に適合するように計画してください（添付参照）。
回答	尾根よりも低い谷間に設置しますので問題ありません。
12	事業用地に農地が含まれておりますので、農業委員会事務局に相談してください。
回答	農業委員会事務局のご指示に沿い所定の手続中です。
13	申請地周辺には、市道2級大岡更埴線、大岡農道129号線がありますが、フェンスや架台を設置する際には官地へ越境しないよう注意してください。
回答	承知致しました。
14	フェンスを設置する場合は、設置位置を明示してください。※フェンスを設置しない場合は、設置しないことで官地が申請地と一体的に使用されることのないようにしてください。
回答	設置位置を明示します。
15	排水を隣接水路へ流す場合は、地元区長や水利権者と十分協議を行ってください。
回答	事前説明会にて質疑を行い了解頂きました。
16	電柱を新設又は移設する場合は、民地へ設置してください。
回答	承知致しました。
17	雨水処理について安全性が確認できないので、図面（側溝の縦断・平面、調整池の構造図など）や計算書（浸透を見込む場合は設計浸透量など）を提出してください。
回答	提出します。
18	雨水流出抑制対策をご検討ください。その際には「長野市開発許可審査基準」を参考としてください（添付参照）。
回答	面積が1ha以上になりますので、県基準になります。
19	施工時の地下水および洗浄水などの排水については、河川や道路側溝に直接流出させないように管理を徹底し、下流の汚濁防止に努めてください。ノッチタンク等で沈殿させ、濁水の状態で排水しないよう十分注意願います。
回答	承知致しました。
20	既設水路への接続に関しては、施設管理者と協議してください。
回答	大岡支所にて説明し、ご了解頂きました。
21	現場状況が確認できる写真を回答に添付して下さい。
回答	添付します。
22	事業区域及び配置図について、青字BF300×200は、当計画の調整池の一部として新設されるものですか。該当位置には既設の排水路構造物がありますが、それは撤去しますか。既設水路の撤去や、改造に伴う流下方向の変更がある場合は施設管理者と協議してください
回答	青字BF300×200は既設です。既設排水路構造物の撤去はありません。既設水路の改裝はありません。
23	先の既設水路には計画敷地からの湧水が確認されており、地下水位が高い事が想定されます。地下水位が高い区域や高低差が著しい区域への雨水浸透施設の設置は不適當となりますので、ご注意ください。
回答	調整池は、貯留構造とします。
24	調整池の計画について、パネル計画位置と調整池計画位置が一部重なっていますが、パネルへの影響は無いものなのでしょうか。
回答	一部重なる設置となる場合は、通電箇所が浸水しない高さに架台を設計します。